

歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価シート

■進捗評価シート(様式1)

- ①組織体制(様式1-1)
- ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)
- ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)
- ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)
- ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)
- ⑥その他(様式1-6)

■法定協議会等におけるコメントシート(様式4)

岐阜県 高山市

評価軸①
組織体制

	評価対象年度	平成23年度
項目	現在の状況	

都市整備課と文化財課の連携	<input type="checkbox"/> 実施済み(計画の全て) <input checked="" type="checkbox"/> 実施済み(計画の一部) <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 今後、検討予定
---------------	---

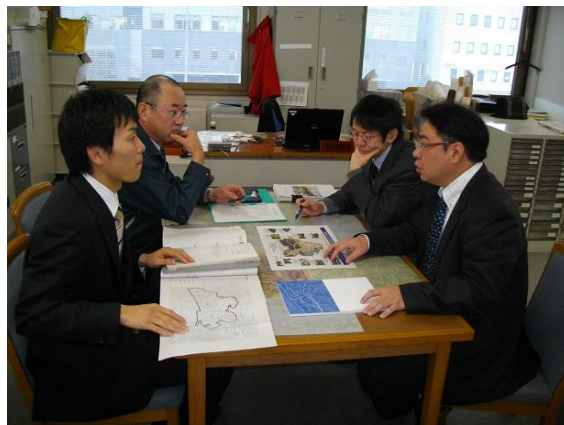
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

新たな部署の設置や担当者の増員は行っていないが、計画策定段階から引き続き都市整備課と文化財課が連携し、事業を推進している。また、核となる事業を実施するうえで、連携が強化している。(頻繁な連絡・打ち合わせ)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	核となる事業が終了した後も、連携して歴史まちづくりを推進する必要がある。さらに、今後は全庁的な連携強化について検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等

都市整備課と文化財課の打ち合わせ状況



於 文化財課執務室



於 飛騨高山まちの博物館

評価軸②

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	平成23年度
		現在の状況	
屋外広告物の規制 市独自条例の取り組み(市街地景観保存条例、ポイ捨て等及び路上喫煙禁止条例)		<input type="checkbox"/> 実施済み(計画の全て) <input checked="" type="checkbox"/> 実施済み(計画の一部) <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 今後、検討予定	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		図面の添付の有無 ※都市計画関連の変更がある場合のみ 無	
屋外広告物の規制強化案を検討中である。(H22年度に景観まちづくりワークショップを開催し、市民と事業者、行政が協働で屋外広告物の新たな基準について検討した。) 市独自条例の適正な運用により良好な市街地景観の保存に取り組んでいる。(継続実施)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観重点区域について、農山村部における拡大は実施したが、市街地部における拡大が実施できていない。 屋外広告物の規制強化について、町並保存会等住民との十分な意見交換が必要。 状況を示す写真や資料等		



景観計画に基づいて改修された景観重点区域内の店舗



伝統的建造物群保存地区条例に基づいて改修された住居



高山市景観町並保存連合会の総会及び研修会

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
旧矢嶋邸等整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済み(計画の全て) <input checked="" type="checkbox"/> 実施済み(計画の一部) <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 今後、検討予定

定性的評価(自由記述)

内部に残る土蔵を歴史・美術展示施設として活用し、周遊ルート等の拠点施設として整備する旧矢嶋邸等整備事業を順次進め、飛騨高山まちの博物館として開館した。(平成23年4月11日オープン)

定量的評価

展示施設の利用者数(飛騨高山まちの博物館、飛騨民族村、高山市制記念館ほか)	H21(350,849人)→H23(482,827人)→H26目標(385,000人)高山市教育振興基本計画内、飛騨高山まちの博物館利用者数 H23(188,130人)
---------------------------------------	--

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
----------------	---------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業効果を十分に発現できるような拠点施設の管理運営手法等が課題である。(教育・研究機関としての活用、ガイドの研修の場など)
--	---

状況を示す写真や資料等



旧矢嶋邸等整備事業
 (開館した飛騨高山まちの博物館)
 H23.4~12 :16万人来場

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
周遊ルート整備事業 無電柱化事業Ⅰ、Ⅱ スポット整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済み(計画の全て) <input checked="" type="checkbox"/> 実施済み(計画の一部) <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 今後、検討予定

定性的評価(自由記述)

文化財や歴史的な建造物を繋ぐ周遊ルートや案内施設等の整備を実施しており、歴史的風致の維持向上が図られている。
指定文化財隣接施設の公有化や伝建地区等における無電柱化が実施され、歴史的風致の維持向上が図られている。

定量的評価

周遊ルートの延長実績	H19(0m)→H21(1,800m)→H23(3,335m)
無電柱化の延長実績	H19(0m)→H22(270m)→H23(469m)
スポット整備の箇所数実績	H21(1箇所)→H22(2箇所)→H23(3箇所) *すべて累計

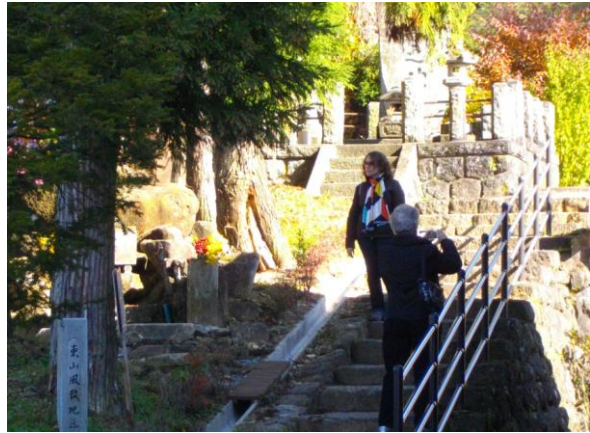
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
----------------	---------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	拠点施設等へのわかりやすい案内、周辺の交通状況の改善なども課題である。
--	-------------------------------------

状況を示す写真や資料等



伝建地区における無電柱化事業



整備された東山遊歩道を散策する外国人観光客



整備された古柳橋スポット施設

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成23年度
--	--------	--------

項目	現在の状況
城山城郭整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済み(計画の全て) <input checked="" type="checkbox"/> 実施済み(計画の一部) <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 今後、検討予定

定性的評価(自由記述)

周遊ルートや案内施設等の整備とともに城山城郭整備事業(現存する石垣保護のための間伐や遊歩道の再整備)を実施しており、歴史的風致の維持向上が図られている。

定量的評価

城山城郭整備の内容	H22 遊歩道石積整備3箇所(36m)、危険樹木の伐採(19本)他 H23 遊歩道危険樹木の伐採(13本)、枯枝除去(37本)他
-----------	---

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	拠点施設等へのわかりやすい案内や、歩いて安全に楽しめる歩行環境の整備なども課題である。

状況を示す写真や資料等



遊歩道保護のための石積み整備



遊歩道における危険樹木の伐採(着工前及び伐採後)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成23年度
		現在の状況
文化財の保存活用施設の運用の改善 文化財所有者等への啓発 農山村地域における文化財普及啓発活動の推進 市民活動団体の育成支援		<input type="checkbox"/> 実施済み(計画の全て) <input checked="" type="checkbox"/> 実施済み(計画の一部) <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 今後、検討予定

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財保存活用施設の改善のため、埋蔵文化財保存施設の整理、合併前の各町村所有の書籍などを整理・集約し閲覧体制を整備。(継続実施)
 高山祭屋台組等市民を対象に、文化庁調査官等有識者を講師とした歴史講座を開催し、祭りの伝承などについて討論。各支所地域(旧町村)で文化財講座を開催し、文化財に関する普及啓発を実施。(継続実施)
 これまで、地域主体であった町並み保存に市民活動団体が関わる関係を構築するため、町家居住促進に関する民間NPOの設立を支援し相談センターを設立。空き家利活用等の支援を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	住民の意識の向上や文化財や景観に対する知識などを向上させていくことが必要である。 また、将来の人材育成に繋がるよう子どもに伝えることが重要であり、その手法が課題である。

状況を示す写真や資料等



文化庁調査官による歴史講座
 「高山祭の伝承について」
 平成24年2月28日



各支所地域で開催された文化財講座

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

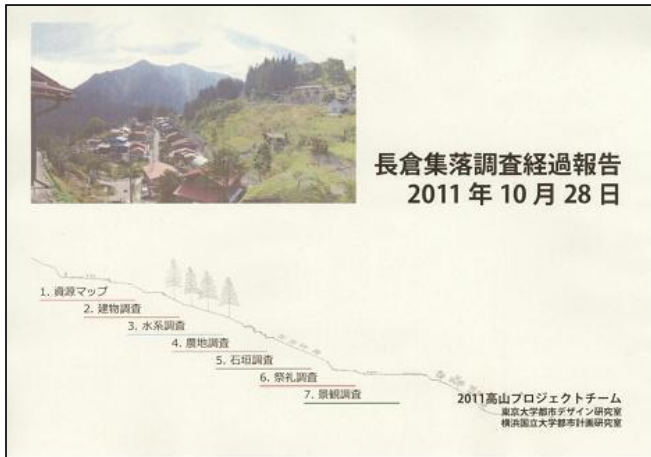
	評価対象年度 平成23年度
項目	現在の状況
住民が地域の文化財や景観を一体的に価値付けるモデル事業に協力	<input type="checkbox"/> 実施済み(計画の全て) <input checked="" type="checkbox"/> 実施済み(計画の一部) <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 今後、検討予定

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

集落に残る豊かな自然や文化などの資源を、地域住民が自律的に保存活用する手法について調査研究するモデル事業を、大学の研究会と住民が協働で実施。資源調査やワークショップによりマネジメント計画を策定し、計画の実行に向けた活動を行っている。
(平成22年度 荘川町一色惣則地域、平成23年度 上宝町長倉地域)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	住民の意識の向上や文化財や景観に対する知識などを向上させていくことが必要である。 また、将来の人材育成に繋がるよう子どもに伝えることが重要であり、その手法が課題である。

状況を示す写真や資料等



長倉集落調査経過報告書



大学の研究会と長倉地域住民とのワークショップ

- H23. 11. 26 住民参加者18名
- H23. 11. 27 住民参加者3名
- H24. 2. 11 住民参加者27名
- H24. 3. 18 全世帯参加

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	日時	評価対象年度
		平成23年度 掲載紙等
飛驒の食文化後世に 宗和流本膳料理DVD完成	H23.11.19	中日新聞
デジカメ使ったワークショップ	H23.11.24	中日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

飛驒の食文化を伝えるために作られたDVDを、飛驒高山まちの博物館で閲覧できるようにすることが紹介されている。芸術家の講師によるデジタルカメラを使ったワークショップが飛驒高山まちの博物館で開かれ、参加者が撮影した古い町並み周辺の写真をつなぎ合わせ、映像作品を制作したことが紹介されている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施にあたっての課題(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	東山遊歩道のパンフレットを作製するなど、PRに取り組んでいるが、さらなるPRの拡大が必要である。

状況を示す写真や資料等



「宗和流本膳料理DVD完成」
 (飛驒調理技能士会)
 平成23年11月19日



「デジカメ使ったワークショップ」
 平成23年11月24日

報道とは直接関係ないが、歴史まちづくりに関する視察数は年々増えており、電話等による問い合わせも数多くある状況である。

評価軸⑥
その他

評価対象年度 平成23年度

項目

- ① まちなか居住の推進
- ② 伝統構法による既存建築物(町家等)の改修

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ①-1 新規移住者が、中心市街地において自己の居住用の住宅の新築、取得、改修又は借家等を借りる場合に対象経費の一部を補助(H23補助実績:32世帯100人)
- ①-2 NPO法人飛騨高山町家再生・住替え支援センターによる空き家活用支援やまちづくり座談会の開催(飛騨高山町家座談会 H23.11.9開催、参加者約100名)
- ② 町家などの耐震改修について、大工や左官、建築士などで研究会を発足し、伝統構法の活用などを研究(H24.2~予定)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施にあたっての課題(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

- ① まちなかにおける居住人口の減少により、祭行事や地域の活動が衰退する恐れがあるため、新たな居住者が地域住民や地域活動に溶け込めるような受け入れ体制の構築が必要。
- ② 高山の伝統構法の確立や、建築基準法の構造基準との整合など。

状況を示す写真や資料等



NPO法人飛騨高山町家再生・住替え支援センター 主催
「飛騨高山町家座談会」 in 宗猷寺
H23.11.9



修理終了後、一般公開された
宗猷寺庭園の紹介
H23.11.1 広報たかやま



法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	23年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 高山市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時： 平成24年5月24日	
(コメントの概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・都市整備課と文化財課だけでなく、観光課や商工課とも連携を強化するとともに、住民の意見を取り入れる機会を設けるため、市関係各課と地域住民との意見交換会を開催してほしい。 ・屋外広告物の規制強化について、看板だけでなく、点検が必要なものが色々ある。規制に関しては、町並み保存会との十分な意見交換が必要である。 ・まちなか居住の推進について、新規移住者が暮らしのなかでいかに地域にとけ込むことができるかが課題である。移住者へのアフターフォローも必要である。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・観光課や商工課との連携を進めるとともに、市関係各課と地域住民との意見交換会を開催する。 ・屋外広告物の規制強化について、市が一方向的に強化するのではなく、それぞれの町並み保存会独自の取り組みが実効性のある形になるよう、市が支援を行う。 ・新規移住者が地域になじめるような支援の方法を、他地域の事例を参考に検討する。 	